

## 【寄せられた感想(抜粋)】

### ◆家族・交流証言講話

#### ○愛知県姫路市四郷中学校（147名）

画像や音源もあり、とてもわかりやすく当時のことを想像することができました。講話の資料の中には原爆資料館のものが数多くあり、3年生は修学旅行で同じ資料を原爆資料館で見ること、平和についてより深く考えることができました。



#### ○兵庫県伊丹市立松崎中学校（212名）

PCとプロジェクターを使ったわかりやすい説明で、非常に具体的な内容で、切実な思いが伝わる話し方でした。生徒の心に残る、大切な時間をいただいたことを、感謝しております。



#### ○香川県坂出市立岩黒中学校（29名）

目に見えない、におわないけれど、放射能が通ったあとには内臓などを壊してしまう原爆は、非人道的な兵器で、この話を絶対に忘れずに次の世代にも伝えていきたいという決意が、生徒の振り返りの中に見られました。これまでの事前学習が修学旅行での平和学習に十分生かされなかったため、なんとかしたいと思っていたところ、この事業を知りました。教職員一同、感謝しています。



#### ○長崎県平戸市立南部中学校（90名）

初めに原爆に関する知識の確認があり、その後紙芝居を使ってお父様が被爆された時の様子を語っていただきました。内容はわかりやすく、生徒たちも真剣に聞いていました。また機会がありましたら、交流証言講話や、永遠の会のお話しも聞いてみたいと思います。



#### ○沖縄県石垣市役所（100名）

若い人が危機感を持ち、後世に伝えていく役割をしたいと思い、この活動をしていることに感心しました。被爆体験を風化させず、次世代へ伝えるための真摯な取り組みと、その実りを感じる講話でした。年齢が近い方の講話は、子どもたちにより伝わり、また若い世代の人が平和のために語り部となっているのを見ることができ、児童生徒の皆も自分が平和を学ぶだけでなく、平和の発信者になることもできると感じる講話でした。



#### ○福岡県北九州市立吉田小学校（143名）

とにかく素晴らしかったの一言につきます。被爆した当事者の方はもちろんですが、今回は被爆二世の方からのお話だったことがよかったです。子どもたちの感想の中に、「お父さんの思いを、その子どもが話したのに心が打たれた。今度は自分たちが伝えていかなければ」と書かれていました。ぜひこれからもこの取り組みを長く続けていただきたいと思います。



## ◆被爆体験記朗読会

### ○大分県大分市立森岡小学校（42名）

プレゼンテーションを使って、地図などで場所をわかりやすく提示してくださったので、原爆が落下したすぐ近くに小学校があり、同じくらいの子どもたちが犠牲になったことを実感できた。話しの内容、朗読、どれも心に響くものでとてもよかった。子どもたちも真剣に話しを聞いていた。とても素晴らしいになった。せっかく来ていただいたので、近隣の小学校にも声をかければよかったと思う。



### ○宮崎県小林市立東方中学校（60名）

生徒感想を読むと、長崎市の中学生在が作成した紙芝居に感動した様子でした。この紙芝居から原子爆弾の恐ろしさがよく伝わりました。また中学生でもできる伝承活動を具体的に学ぶことができました。伝承者の思いや伝承することの大切さが生徒に実感として伝わったと思います。派遣事業をお願いして良かったです。



### ○福岡県北九州市立富野小学校（106名）

ゆっくり聞き取りやすい話し方で、子どもたちも聞き入っていた。ビデオ（動画）、写真等があると、子どもも興味を持ちやすいと思う。

